

2019年度 自己評価表

2020年5月7日

基準1 教育理念・目的・人材育成像	評価
1 学校の理念目的育成人材像は定められているか。特性が明確になっているか。	④ 3 2 1
2 学校における職業教育その他の教育指導の特色が打ち出せているか。	4 ③ 2 1
3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4 ③ 2 1
4 学校の理念目的育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。	4 ③ 2 1
5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4 ③ 2 1
<p>コメント: 語学力・ビジネスマナー・OAスキルなどの社会人基礎力に加えて、本校の目的である「次世代型ビジネスパーソン」の養成のため、簿記や会計、リテールマーケティング、Webデザインなど、社会的要請の高い幅広い教育指導を行っている。</p> <p>今後の改善策: 今後、一層企業との連携を図り、カリキュラムの構成や各学科の教育目標について、企業の養成に応えられるよう、柔軟に対応していく。</p>	
基準2 学校運営	評価
1 目的・理念に沿った運営方針が策定されているか。運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4 ③ 2 1
2 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	④ 3 2 1
3 人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4 ③ 2 1
4 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか。	4 ③ 2 1
5 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	④ 3 2 1
6 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4 ③ 2 1
7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4 ③ 2 1
<p>コメント: 学校運営全般にわたり、各種の規程やシステムの導入などの取り組みを行い、状況に応じて柔軟に対応している。</p> <p>今後の改善策: さらなる適正かつ効率的な運営体制の構築のために、必要な資源を迅速に投入していく。</p>	
基準3 教育活動	評価
(目標の設定等)	
1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	④ 3 2 1
2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④ 3 2 1
(教育方法評価等)	
3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	④ 3 2 1
4 キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	4 ③ 2 1
5 関連分野の企業関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか。	4 ③ 2 1
6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか。	4 ③ 2 1
7 授業評価の実施評価体制はあるか。	④ 3 2 1
8 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4 ③ 2 1
9 成績評価単位認定、進級卒業判定の基準は明確になっているか。	④ 3 2 1
(資格試験)	
10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	④ 3 2 1
(教職員)	
11 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4 ③ 2 1
12 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務兼務含め)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4 ③ 2 1
13 関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4 ③ 2 1
14 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4 ③ 2 1
(生徒指導等)	
15 基本的な生活習慣の確立のための取組が行われているか。	4 ③ 2 1
16 生徒の安全管理のための取組(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか。	4 ③ 2 1
17 保護者との連携を取っているか。	④ 3 2 1
18 進学就職指導にかかる支援体制は組まれているか。	4 ③ 2 1
<p>コメント: 語学・簿記・OAなどの科目でカリキュラム上、資格取得を目標としている。</p> <p>今後の改善策: 教職員の人員体制の補強し、兼務業務を極力減らし、質的向上をはかる。また、進路については、専任担当を設置する。カリキュラムの評価において外部企業との連携を強化しつつ、資格目標もこれまで以上に積極的に取り入れていく。</p>	

基準4 学修成果		評価	
1 資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2 1
2 退学率の低減が図られているか。	4	3	② 1
<p>コメント:資格については、一部学生については任意の補講を実施するなどの取り組みを実施した。退学率については、担任・副担任・学生支援担当など多方面から生活指導やフォローを行い低減を図っているが、昨年度より増加してしまった。</p> <p>今後の改善策:資格取得については、学力差の大きい状態があり、学生に合わせて柔軟に対応する必要がある。家庭的な理由、金銭的な理由での退学が多く、特に1月からのコロナウイルス流行により、影響を受ける学生が多いことが予想される。学びの継続に向けて、学校として柔軟に対応していく。</p>			
基準5 生徒支援		評価	
1 生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか。	④	3	2 1
2 生徒の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	③	2 1
3 生徒の生活環境への支援は行われているか。	4	③	2 1
4 保護者と適切に連携しているか。	4	③	2 1
5 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	③	2 1
6 受入れ、在籍管理等において適切な手続きがとられているか。	4	③	2 1
7 留学生の学習生活指導等について学内の適切な体制が整備されているか。	④	3	2 1
8 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか。	4	③	2 1
<p>コメント:経済支援については、前年度の優秀学生に対する学費減免制度を創設した。学生支援については、クラス担任を中心に教職員複数人でサポートする体制を取っている。留学生については、専任担当者により在留関連の手続きや相談、生活フォローを行っている。</p> <p>今後の改善策:学生が安心して、教育を受けられるようさらに支援を充実させていく。前述のとおり、予想されるコロナ禍の影響についても、学校としてできる限りのフォローをしていく。</p>			
基準6 教育環境		評価	
1 施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	③	2 1
2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。	4	③	2 1
3 防災に対する体制は整備されているか。	④	3	2 1
<p>コメント:新規入学により学年が増え、今後さらに充実した教育を実施するために、科目によっては学力別や目標資格等級別の指導を増やす必要があり、施設の拡充を検討する必要がある。</p> <p>今後の改善策:インターンシップなど、実践的な教育のための外部連携を進める。</p>			
基準7 学生の受入れ募集		評価	
1 高等学校など接続する機関に対する情報提供の取組が行われているか。	④	3	2 1
2 学生募集活動は、適正に行われているか。	④	3	2 1
3 学生募集活動において、資格取得進学又は就職状況の情報は正確に伝えられているか。	④	3	2 1
4 学生納付金は妥当なものとなっているか。	④	3	2 1
<p>コメント:日本語学校や高等学校(通信制)などを訪問し、学校説明を実施。ガイダンスへの参加、オープンキャンパスの開催などを計画的に行った。</p> <p>今後の改善策:特になし</p>			
基準8 財務		評価	
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2 1
2 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	④	3	2 1
3 財務について会計監査が適正に行われているか。	④	3	2 1
4 財務情報公開の体制整備はできているか。	④	3	2 1
<p>コメント:学生数の減少による収入源の減少が課題である。</p> <p>今後の改善策:特になし</p>			
基準9 法令等の遵守		評価	
1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	④	3	2 1
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	③	2 1
3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	④	3	2 1
4 自己評価結果を公開しているか。	④	3	2 1
<p>コメント:本学園では法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っている。</p> <p>今後の改善策:特になし</p>			
基準10 社会貢献・地域貢献		評価	
1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか。	4	③	2 1
2 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	③	2 1
<p>コメント:今年度、社会貢献・地域貢献に関しての活動を実施出来なかった。</p> <p>今後の改善策:地域社会との関係性を深め、具体的な行動を行う。</p>			